

## 「思い出のメロディー」(西村)

先日、稲垣潤一の『35周年記念ライブ』に大阪NHKホールへ行ってきました。懐かしいメロディーの数々に、一瞬にして当時のいろんな思い出が甦り、胸が熱くなりました。音楽により心身を健康に導いていく治療法があるように、音楽にはストレスや緊張を和らげる癒しの効果や、お気に入りの曲を聴くと免疫力がアップする効果など、そしてなによりも、懐かしい思い出のメロディーを聴くと、脳の情動領域を刺激して、脳にしまわれた記憶を呼び起こし、脳を活性化させアンチエイジングの効果があるそうです。今年もはや8月となりました。夏の紅白歌合戦といわれる『思い出のメロディー』の季節です。まだまだ暑い日が続きますが、お気に入りの曲や思い出の曲を聴いて、元気に夏を乗り切りたいと思っています。



## 今さら聞けない 経済用語

## 【今月の教えてキーワード：格安スマホ】

格安SIMカードで運用するスマートフォンのこと。事業者がNTTドコモやKDDI、ソフトバンクなど大手携帯電話会社の回線を借りて独自に展開する通信事業で、実店舗をあまり持たないなどのコストダウンにより大手事業者よりも安価なサービスを実現している。SIMとは契約者を識別する規格で、音声通話やデータ通信を行うにはSIMカードが必要となる。SIMカードと端末のセット、カードだけなどさまざまな販売形態がある。

## 偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

## 【自由と公益を求めて：板垣退助】

自由民権運動をけん引した板垣退助は1837年、乾(いぬい)家の嫡男として高知城下で生まれました。31歳の頃に戊辰戦争が始まると土佐軍の重責を任されて甲府城に入ります。武田信玄の家臣であった板垣信方を先祖にもつ退助は、甲斐の人々の心をつかむために乾から板垣へと姓を改めます。江戸城無血開城の後も抵抗を続ける奥州各地を鎮静化すべく会津へと軍を進め、会津藩を降伏させました。このとき会津藩の敗因は武士と民衆が一致団結しなかったことにあると感じ、人民が全て平等でなければ豊かな国づくりは難しいと痛感します。これは後に、ごく一部の権力者が実権を握る政府に疑問を抱き、自由民権運動を起こすきっかけになったといわれています。権力集中に反発し「民撰議院設立建白書」を提出して国会開設に挑んだ退助。刺客に襲われるという災難に遭いながらも志を貫き、民衆の支持も得ながら61歳で大隈重信と共に日本初の政党内閣を設立します。しかし、内部分裂などにより4カ月で内閣は崩壊。政界を引退し、その後は庶民の生活向上に向けた社会活動に私財を投じて身を捧げました。盲人の按摩(あんま)専業を訴え、女囚の乳児を養育するなど、弱者を救済し自由と公益を追い求めた82年の生涯でしたが、生前には「自分はただ誠心誠意、国に尽くしたに過ぎない」と述べるにとどめました。

今を生きる  
先人の言葉

言葉は心の  
足音である

臨済宗の僧侶である松原泰道の言葉。言葉は人を傷付けもし、また生きる喜びや明日への勇気も与える。できるだけ心を穏やかに保ちながら話し掛けたいものだ。

# トレンドを斬る!

使い切りカメラとして一世を風靡（ふうび）した「写ルンです」が、女子大生らを中心に脚光を浴びています。デジタル画質と

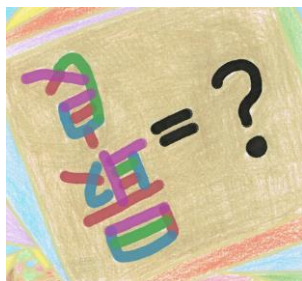
は異なるフィルム独特の風合い、1枚1枚を大切に撮る感覚がアナログを知らない若い世代には新鮮です。現像に出して仕上がり待つワクワク感、お気に入りの1枚をSNSに投稿する満足感。シンプルな作りながら進化を続けた「写ルンです」は現像後、工場で分解してリサイクルするビジネスモデルも秀逸で、見事な復活劇を演じています。



## 365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント: 【「最良」の反対は?】

「成功」の反対は何でしょう。今では小学校でも使われるくらいよく知られた問い掛けです。成功の反対は「失敗」ではなく「何もしないこと」、または「チャレンジしないこと」ではないでしょうか。思うような結果が得られなかったとしても、それは成功の種まきだったというわけです。



では「最良」の反対は何でしょう。辞書には「最良の反対は最悪」と書かれていますが、もちろん辞書的な意味を問い掛けているわけではありません。

「最良の反対は良である」と言ったのは、主に自費診療を提供している歯科医のK氏でした。保険という制度のある日本では、保険診療をしたほうがビジネスとしては楽かもしれません。けれど本当に必要な歯科医療を提供しようと思ったら、

保険制度の中で無償の部分を増やすか自費にするかの難しい選択だそうです。

K氏自身、以前は保険請求できない部分は修行だと思って辛抱し、患者の健康のためにそこそこ良い診療をしている自負はありました。「まあまあなことはしているから、この程度でも他の歯医者よりは良いことをしているはずだ」。そうやって自分を鼓舞する反面、常に頭から離れないのは「これはベストな診療なのだろうか」という迷いでした。

そんな葛藤の日々の中でK氏が出会ったのが、先輩歯科医であるY氏の「最良の反対は良である」という言葉だったそうです。「そこそこ良い」は「ベストを尽くすこと」を妨げる。「まあまあ良いことをしているから」という思いでいると、その先の一步、さらにもう一步がなかなか出ない。



Y氏の言葉にK氏は背中を押されたと言います。「そこそこやっているけれどベストではないことは分かっている。分かっているながらも現実に負けてきた自分と向き合うときが来たのかもしれない」と。

誰もが上を目指す必要はありません。ただ、自分なりのベストを追い求める商売ができれば、きっと良い人生になるだろうと想像します。

トナリの

# 本棚

ツバキ文具店  
小川泰



### 【ツバキ文具店】

亡き祖母が営んでいた代書屋を継ぐことになった主人公が、依頼主に代わってさまざまな手紙を書いていく物語です。友人からの借金依頼を断る手紙に、依頼者の友情を込めることができるのか? 今すぐにでも手紙を書きたくなる一冊です。

### 船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: [info@f-office301.com](mailto:info@f-office301.com)

皆様のご感想をお待ちしております (๑)(๑)(๑)(๑)(๑)(๑)